

2023年1月31日  
東京大学未来ビジョン研究センター  
公益財団法人イオン環境財団

## イオン東大里山ラボ 里山シンポジウム開催

### 新たな里山チャレンジが拓く未来の地球

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役代表執行役会長以下当財団）は、東京大学未来ビジョン研究センター（城山英明 センター長）と2月4日（土）、東京大学安田講堂にて「イオン東大里山ラボ 里山シンポジウム」を開催します。

両者は、自然と調和した健全な人間社会を目指し、新たな里山づくりにチャレンジすることを目的に、2022年3月に「イオン東大里山ラボ」を設立しました。

2回目となる本シンポジウムでは、里山の活動とフレイル予防活動を連携させ、健康で幸福な長寿生活が地域貢献に結びつき、最終的に地域の持続可能性を創出するモデルについて意見交換をします。（フレイル：年齢を重ねたことで生じやすい衰え）

両者は、いのちあふれる美しい地域を次代に引き継ぐため、今後も新たな里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取り組んで参ります。

#### 【イオン東大里山ラボ 里山シンポジウム 概要】

日 時：2023年2月4日（土）14：00～17：30

場 所：東京大学 本郷キャンパス 安田講堂（東京都文京区本郷7-3-1）

開催方法：ハイブリッド開催（参加費無料・事前登録制）

主 催：東京大学未来ビジョン研究センター、公益財団法人イオン環境財団

#### 【主な内容】

##### 基調講演

「地域の自然を通して自分と地域の健康長寿を実現しよう！」

飯島勝矢（高齢社会総合研究機構 機構長／東京大学 未来ビジョン研究センター 教授）

「地球の健康は私たちと地域の健康につながっている」

高村ゆかり（東京大学未来ビジョン研究センター教授）

##### パネルディスカッション

「地球貢献による健康長寿・幸福長寿の実現」

菊池 康紀（東京大学未来ビジョン研究センター・准教授／「プラチナ社会」総括寄付講座 代表（兼務））

田中 友規（東京大学 高齢社会総合研究機構 特任助教） 他

※詳細、ご出席は、下記URL、若しくはQRコードよりお申込みください。

[https://pco-prime.com/satoyama\\_sympo2023/](https://pco-prime.com/satoyama_sympo2023/)から



## ご参考

### 【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりに取り組んでいます。

### 【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,243万本をこえています。

本年度、当財団は、北海道南富良野町、宮城県石巻市、石川県金沢市、千葉県習志野市・君津市・山武市、滋賀県甲賀市、宮崎県綾町で植樹を行いました。また、海外では、香港、インドネシア、ジャカルタで植樹を実施しています。

### 【これまでのイオン環境財団と東京大学との主な取組み】

#### ■イオン未来の地球フォーラム

イオン未来の地球フォーラムは、地球環境の変化やそれに伴って生じる問題の解決方法、実行策を考えるためのシンポジウムです。第1回は東京大学武田ホール、第2回～第4回は東京大学安田講堂、第5回はオンラインにて開催いたしました。参加者の皆さまとともに、現在発生している環境課題について共有し議論をしてまいりました。5年間で、のべ40名のスピーカーが登壇し、約3,800名の皆さまが参加しました。

- 第1回 2017年2月25日 「地球と人の健康」
- 第2回 2018年1月20日 「持続可能な消費と生産」
- 第3回 2019年2月2日 「自然の恵み」
- 第4回 2020年2月1日 「海の環境と資源を守る」
- 第5回 2021年2月6日 「ポストコロナの持続可能な未来」



第4回（安田講堂）



第5回（オンライン）